

女子バスケット部 大阪ベスト16 2015/09/15

【はじめに】

女子バスケットボール部は、第70回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会西地区予選においてブロック優勝を成し遂げ中央大会に進出、そして、中央大会も一回戦を突破して、優勝候補の大阪桐蔭とベスト8をかけて戦いました。残念ながら敗れましたが、みんな堂々と戦いよく頑張りました。しかし、枚方津田高等学校に佐藤麻里亜先生が本校に赴任して、ついに、「大阪ベスト16」です。今回の頑張りをレポートします。



女子バスケットボール部横断幕

【2回戦】

西地区のブロックで、1回戦はシードされ、2回戦からでした。7月20日、太成学院大学高等学校との対戦です。結果は「140対21」の好スタートを切ります。3年生は6名。キャプテン寺島をはじめ、北川、兼森、矢野、金森、八塚。八塚は昨年、膝の手術を行いましたが、見事復帰し試合に出場し活躍しました。

【3回戦】

3回戦は7月25日、大阪夕陽丘学園と対戦しました。さすがに厳しい試合でしたが乗り切ります。選手たちはよく集中していました。日頃の練習成果が出ました。結果は「67対58」で勝利を収めます。



東大阪アリーナー体育館で試合

【4回戦】

7月26日が4回戦でした。勝てばブロック優勝です。負ければ引退です。相手は長尾高校、監督はバスケットに熱い思いを持つ先生です。試合は厳しいものになりました。

第1ピリオドは11-3。幸先の良いスタートです。第2ピリオド、突如、長尾男子バスケットボール部の大声援が始まり長尾が調子を上げ追いつかれ、19-21と逆転を許します。しかし、落ち着いていました。その後、寺島のシュートが決まりだします。

第3ピリオドでは点差を広げ、58-45と13点リードです。第4ピリオド、北川と兼森のスリーポイントが連続で決まりだします。結果は長尾を突き放し

「66-49」で勝利を収めました。見事ブロック優勝を果たし、「笑顔満開」でした。



第3ピリオドのスコア 58-45



表彰式 キャプテン寺島が受け取ります



試合終了後の笑顔満開の集合写真

【中央大会に備えて】

私学の強豪がシードされる中央大会で試合ができるのは名誉なことです。他クラブの3年生が最後の試合を終え、勉強に文化祭の準備に取りかかる、そんな中、女バスは翌日から猛練習再開。しかし、部員はもう一ヶ月バスケットができるという嬉しさが伝わり一生懸命練習をします。悔いのないように練習をして欲しいと願いました。

【中央大会 1 回戦】

8月29日、場所は大阪市中央体育館。朝潮橋にある立派な体育館でした。相手は市岡高等学校で強豪の公立高校です。第1ピリオド、試合が始まるといきなり北川がシュートを決め、さらに、スリーポイントも連続で決めます。もちろん寺島も兼森も点を入れます。結果は24-6。第2ピリオド、靱帯を痛めていた矢野も頑張ります。2年生も点を取り45-16。第3ピリオド65-23。第4ピリオドは金森も点を入れます。結果は90-40で中央大会初戦は快勝のベスト16。

【中央大会 2 回戦】

レポートを書いている、私は副顧問として女バス部に係わってきましたが、こんな立派な会場で、全国大会に出場するような学校と対戦する場にいるだけでワクワクでした。昨年準優勝校の大阪桐蔭高等学校です。相手は大きい。いや、大きすぎる。身長185cmの外国人選手がいます。女子です、男子ではありません。なんか反則やないかという気がしました。それでも津田は懸命に頑張りました。第1ピリオド、いきなり速攻で相手は攻めてきます。プレッシャーも強い。ゴール下が強い。5分過ぎの時点で5-15。結局10-23。今までの相手とは全く違う。第2ピリオド、津田も点を取るが相手はそれを上回ります。22-48。第3ピリオド、矢野が185cmにプレッシャーをかけゴール下を死守します。総合力で相手は全て上回っていた。それでも、「やってきたことをやる」を合い言葉で、必死で頑張る。最後は92-49で終了しました。本当に、よくやってくれました。28期生のバスケット部員は、後輩に中央大会にでることで、次回、新人戦にシート権を与えてくれた。本当によく頑張った28期生。感動をありがとう。（観戦記 池田裕）

この観戦記を読んでもくれた中学生、来年、枚方津田高等学校でバスケットしませんか。